

【個人】

提出 平成 31 年 3 月 20 日

山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名： 阿 蘇 山 (1,592m)		(熊本県阿蘇市)
入山日：平成 31 年 3 月 12 日 (火) 日帰り		
プラン担当者 正：鈴木 副：		ガスにまみれた山頂
参 加 者	L：報：記： 鈴木	
	男 1 名、女 名、計 1 名	
天候：曇り ガス濃く視界不良		
月 日()	集合時間： なし	
3 月 12 日 (火)	7：40 青少年交流の家—8：20 仙酔峡—9：40 分岐—10：30 高岳— 10：45 中岳—11：15 分岐—12：40 仙酔峡—13：20 青少年交流の家下山 行動 5h40	
荒天候時のエスケープルート： 引き返す		
装 備 と 食 糧	共同装備：共 同 食：すべて無し レンタカーで移動	
	個人装備： ヘッドランプ、雨具、傘、防寒具、コンパス、地図、ストック、グローブ、 軽アイゼン、テルモス(水)、ツェルト、帽子、携帯トイレ、 個人食： 昼食、行動食	
感 想	仙酔峡 3.5 km 手前で道路工事のため車両通行止めとなっており、手前の交流の家に駐車し 仙酔峡まで歩く。仙酔峡はロープウェイ、売店等施設がすべて封鎖されており廃墟の様相。 登山道の荒廃も危惧されたが何とかペンキマークもあり、まったく人気のない道を黙々と 歩く。石ごろの登山道だが溶岩で石が固定されており見た目とは裏腹に非常に歩きやすい。 高度を上げるうち下から見えた白い山肌が雪だと分かり、九州＝南国ではないことを認識さ せられた。稜線に出ても引き続きガスで視界は得られず、荒涼とした惑星(行ったことは ないが)の様相を呈した平原はどこも歩けるがため、道を外れてしまい 40 分ほどロスし 高岳に到着した。中岳への道すがらガスの合間に時折見せる広大な山並みに目を見張らされ たが、納得のいく視界が得られぬままの心残りの下山となった。	